

2. 支援ツールによる構成市町の評価結果

「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」（以下、「支援ツール」という。）とは、「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針」に基づき、市町村が一般廃棄物処理システムの改善や進歩の度合いを客観的に点検し評価するために平成25年6月より環境省が公開しているもので、以下の標準的な指標について、類似自治体との比較により評価するものである。これにより、当該自治体における一般廃棄物処理システムの課題を客観的に評価することができる。

なお、支援ツールでは指数値で作成したレーダーチャートと偏差値で作成したレーダーチャートの両方が表示されるが、指数による算出は指標間で数値の分布幅が大きく異なり、各自治体の特徴の理解が十分にできない可能性もあることから、ここでは偏差値によるチャートを示す。類似自治体とは、人口規模、産業構造及び都市形態が同一の全国の自治体を指す。

資表－2－1 各指標の算出式

指標	算出式	単位
人口一人一日当たりごみ総排出量	$= \text{ごみ総排出量} \div 365 \div \text{計画収集人口} \times 10^3$	kg/人・日
廃棄物からの資源回収率(RDF・セメント原料化等除く)	$= \text{資源化量} \div \text{ごみ総排出量}$	t / t
廃棄物からのエネルギー回収率	= 実態調査でデータが公表されるまでは、当面非公	—
廃棄物のうち最終処分される割合	$= \text{最終処分量} \div \text{ごみ総排出量}$	t/t
人口一人当たり年間処理経費	$= \text{処理及び維持管理費} \div \text{計画収集人口}$	円/人・年
最終処分減量に要する費用	$= \frac{(\text{処理及び維持管理費} - \text{最終処分費} - \text{調査研究費})}{(\text{ごみ総排出量} - \text{最終処分量})}$	円 / t

- ・人口一人一日当たりごみ総排出量

ごみ総排出量(集団回収を除くごみの排出量)を人口及び365日で除算した数値である。数値が低いほど、ごみの減量化が進んでおり、リデュースやリユースが進んでいるということになる。

- ・廃棄物からの資源回収率(RDF・セメント原料化等除く)

一般的にリサイクル率や再資源化率等と言われる数値。再資源化されたごみの重量を総排出量で除算した数値である。数値が高いほど、ごみのリサイクルが進んでおり、特にマテリアルリサイクルが進んでいるということになる。総排出量1 tあたりの資源回収量(t)で表される。

- ・廃棄物のうち最終処分される割合

一般的に埋立処分率等と言われる数値。埋立処分されたごみの重量を総排出量で除算した数値である。数値が低いほど、中間処理等による減量化が進んでいるということになる。総排出量1 tあたりの最終処分量(t)で表される。

- ・人口一人当たり年間処理経費

ごみ処理に係る経費を人口で除算した数値である。数値が低いほど、より効率的なごみ処理が行われているということになる。

- ・最終処分減量に要する費用

焼却処理などの中間処理等により最終処分量を減量化した時に、それらに係る経費を最終処分量の減量化された重量で除算した数値である。数値が低いほど、特に中間処理の効率が良いということになる。最終処分減量化量 1 t あたりの処理経費 (円) で表される。

また、評価結果は、以下の 2 種類のグラフで示す。

- ・レーダーチャート

類似市町村の平均値を 50 とし、赤線で示し、当該自治体の偏差値を五角形の黒い太線のグラフで示したもの。赤線の外側にあるほど良好である。したがって、廃棄物からの資源回収率は数値が高いほど偏差値が高くなるが、他の 4 項目については、数値が低いほど偏差値が高くなる。

赤い線よりも極端に内側にある項目については、当該自治体の課題ととらえることができる。

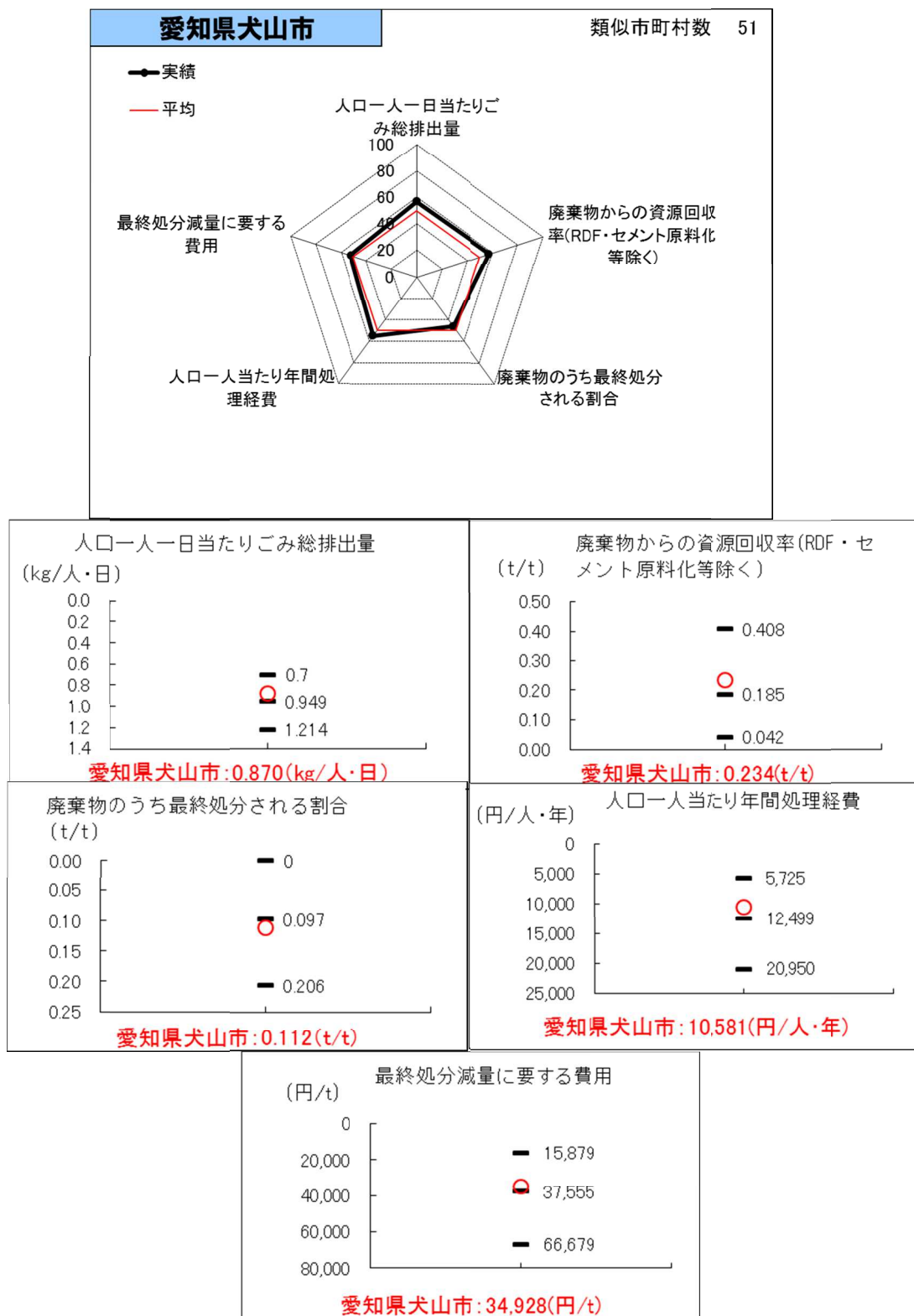
- ・ポジショニンググラフ

各項目について、最大値、平均値及び最小値を短い黒線で表し、当該自治体の値を赤線で表したグラフ。それぞれの実数が表されており、類似市町村におけるそれぞれの値を実数として確認ができる。各グラフとも、上に行くほど良好であるという評価となる。

支援ツールによる評価結果等を以下に示す。

(1) 犬山市

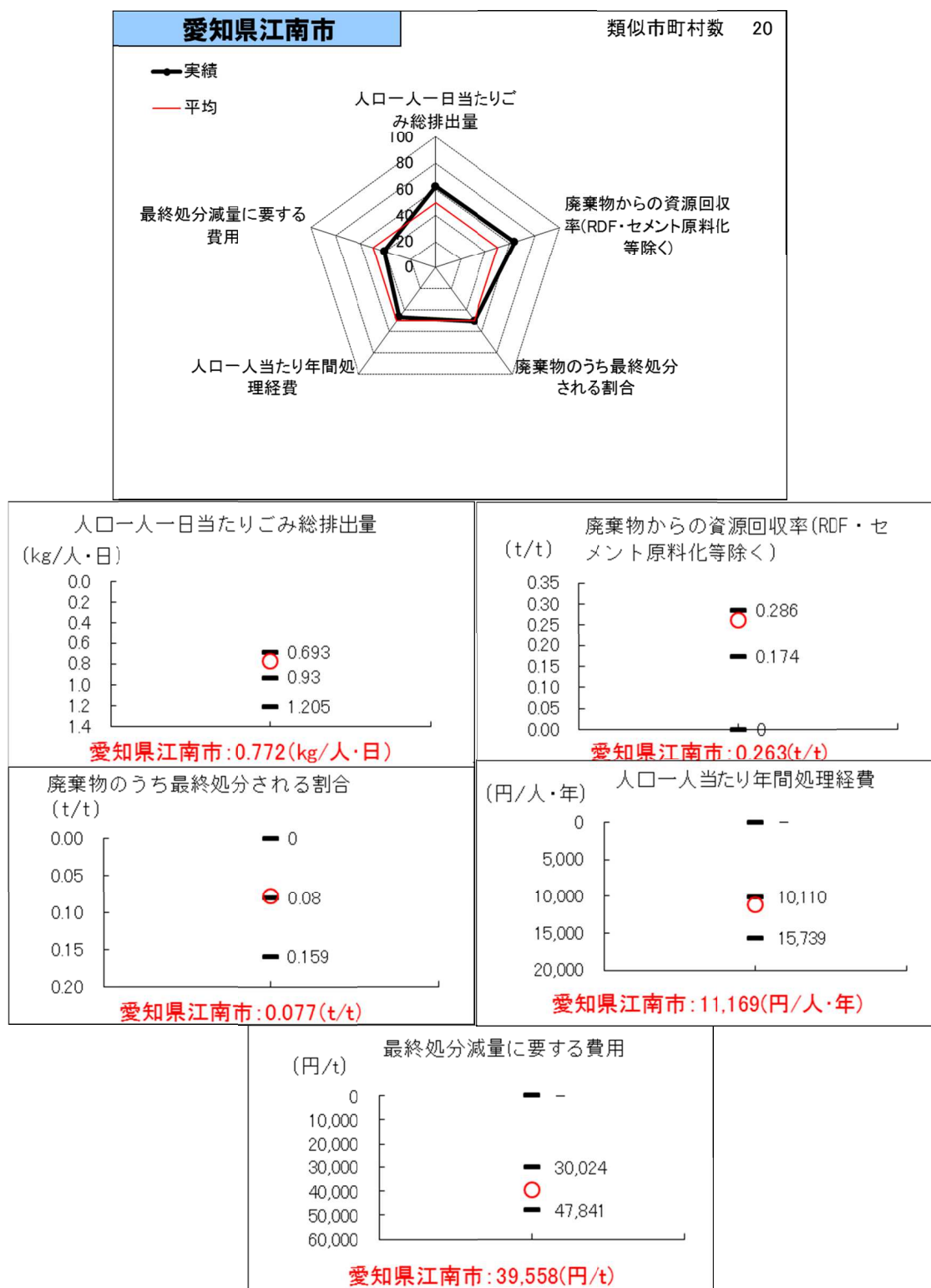
支援ツールによる評価結果を資図－２－１に示す。レーダーチャートを見ると、全項目について、ほぼ平均値付近の値となっている。



資図－２－１ 支援ツールによる犬山市のごみ処理システムの評価

(2) 江南市

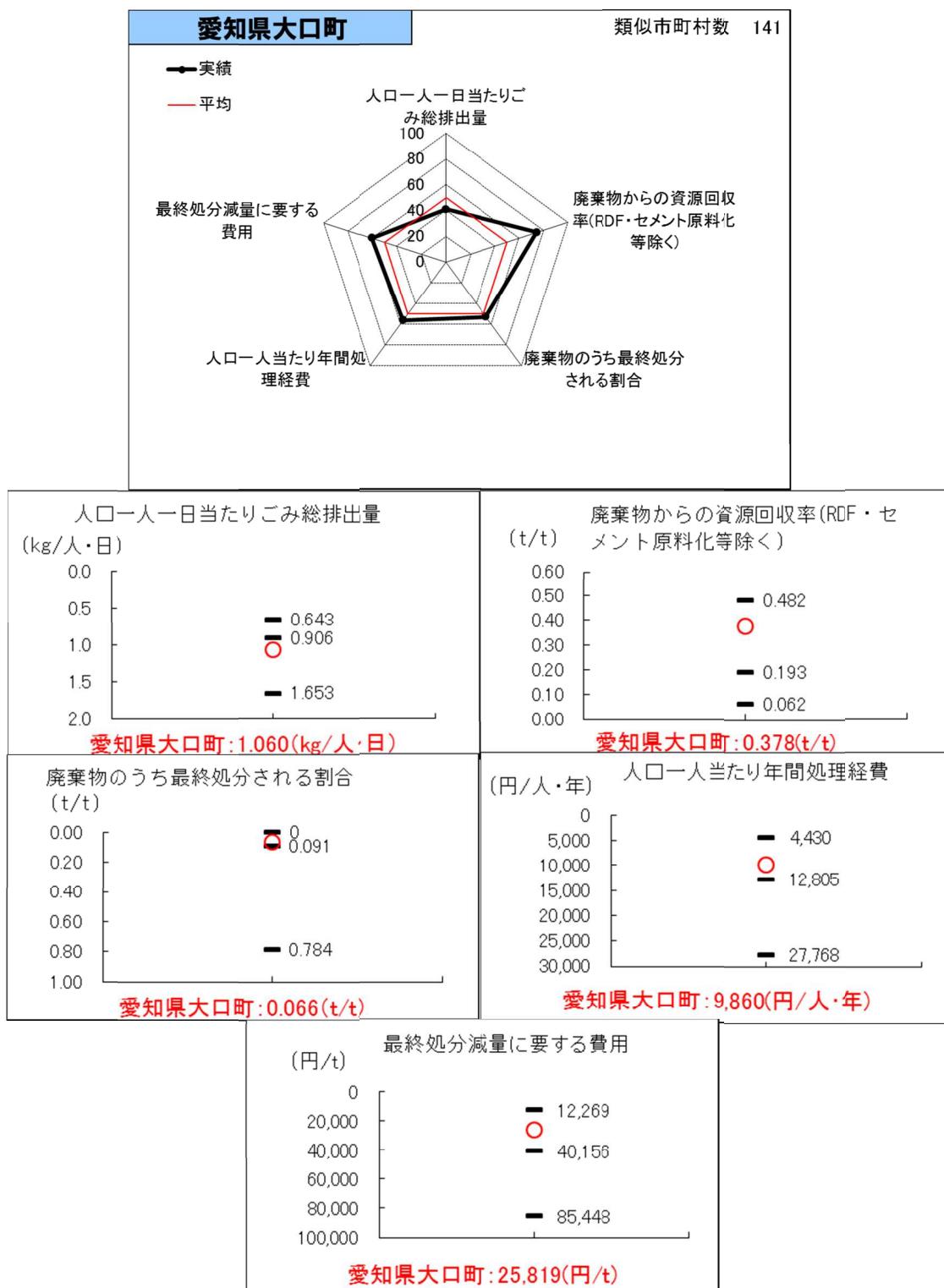
支援ツールによる評価結果を資図－２－２に示す。レーダーチャートを見ると、最終処分減量に要する費用が類似市町村と比較するとやや高く、その他はほぼ平均値またはやや優れているとの評価結果となっている。



資図－２－２ 支援ツールによる江南市のごみ処理システムの評価

(3)大口径

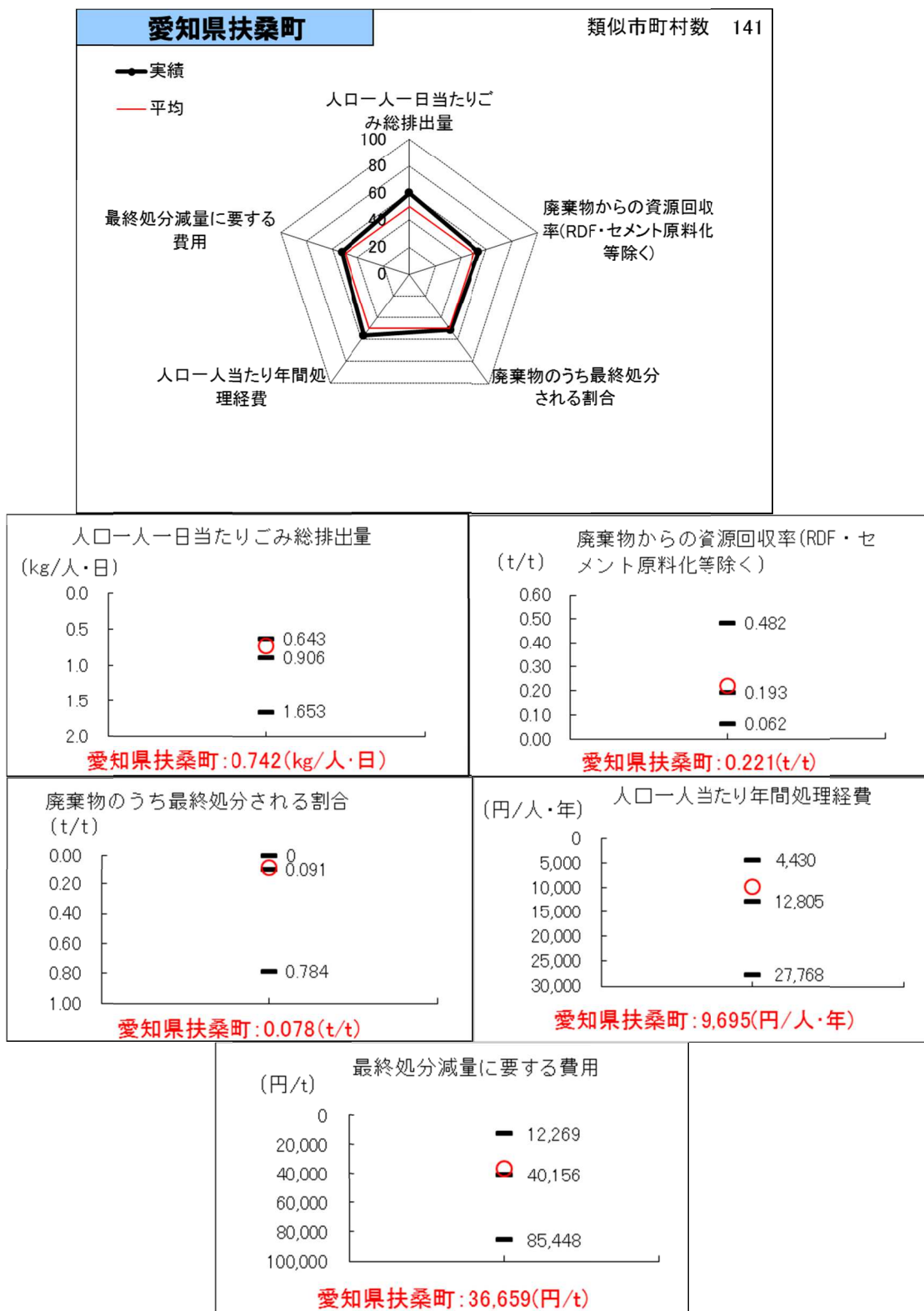
支援ツールによる評価結果を資図－２－３に示す。レーダーチャートを見ると、人口一人一日当たりごみ総排出量が類似市町村と比較するやや多く、廃棄物からの資源回収率が高いとの評価結果となっている。



資図－２－３ 支援ツールによる大口町のごみ処理システムの評価

(4) 扶桑町

支援ツールによる評価結果を資図－２－４に示す。レーダーチャートを見ると、全ての項目でほぼ平均値もしくはやや優れているとの評価結果となっている。



資図－２－４ 支援ツールによる扶桑町のごみ処理システムの評価